

第6回鹿野地域振興会議議事概要

日 時：令和元年11月27日（水） 午後1時30分～午後2時40分

場 所：鹿野町総合支所2階 会議室

【出席委員】

高田守、小川義和、砂川重雄、山本章、筒井洋平、池原美穂、向井健太郎、田中文子、藤原真道

以上9名出席（敬称略）

【欠席委員】

山下直司、佐々木千代子、兼平恵（敬称略）

【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、岡田産業建設課長、三谷市民福祉課長、小林地域振興課長補佐

【傍聴者】

なし

【日 程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告

（1）行事予定

（資料ダウンロード）

4 議 題

（1）市管理防犯灯の地元移管について

（資料ダウンロード）

（2）その他

5 その他、情報提供

(資料ダウンロード)

6 閉 会

◎議事概要

報告事項

(1) 行事予定

事務局より資料1に基づき説明

議 題

(1) 市管理防犯灯の地元移管について

事務局より資料2に基づき説明

【委員】地元移管になると修繕・交換も地元が行うこととなるか。また、電気代も地元負担となるか。

【事務局】故障・老朽化による器具の取替は市が行います。電気代は地元負担となります。

【委員】電気代の予算を地元で見込む必要があるので、早く情報提供してほしい。また、移管される防犯灯の位置も地元はよくわからないので、具体的な位置説明をしていただき、その際に場所の移動は可能か。

【事務局】設置位置の変更は可能です。地元説明の際には具体的な場所を示し、協議して決めさせていただきます。

【委員】小学校前道路の照明は道路照明扱いか。

【事務局】道路照明です。

【委員】道路照明と防犯灯の基数はどのくらいあるのか。

【事務局】鳥取市が管理しているものは、道路照明を含めて約300基程度です。

【委員】市管理と地元管理のもの分けは把握されているか。市管理のものをLED化して移管することとなるか。

【事務局】市管理のものは把握しています。道路照明と扱えるものを精査しているところです。市管理のものは市負担でLED化して移管しますが、地元管理のものは今までどおり地元負担が必要な取替事業でお願いします。

【委員】各自治会が新役員となる来年の自治会長会で説明してほしい。また、各自治会がどのくらいの負担増となるか示してほしい。

【事務局】1月19日の自治会長会で説明しますが、まだ具体的な移管基数や位置などは精査中のため、本日の会議程度の説明となります。

最終的に移管にあたって各自治会に説明する際には具体的な金額等をお示しします。

【委員】道路照明とする基準はあるが、当初防犯灯を設置した時から交通事情等が変化しているところもある。立地条件などを考慮して出来るだけ道路照明としてほしい。

【事務局】地元の方に適切な説明ができるよう精査を進めます。

その他、情報提供

○日本交通浜村営業所の営業時間変更について

事務局より資料3に基づき説明

○亀井さん検定実行委員会の取組みについて

【事務局】鹿野町郷土文化研究会、気高・青谷地域の方、鹿野往来交流館職員計8名で組織し、11月26日に第1回を開催しました。月1回程度開催し、年度末には津和野町での調査を行い、来年度中に形になるよう取り組みます。

○12月補正予算について

【事務局】城跡公園の赤い橋高欄修繕並びに、令和2年度の桜まつり花火大会（花火打上、一方通行対応交通整理員の委託）の早期準備のため債務負担行為を設定します。

【委員】一時的な一方通行は警察の了解は得られたのか。また、交通整理員は何人分の予算か。

【事務局】警察とは協議済みです。交通整理員は花火当日に7人を予定しています。桜まつり花火大会の日程は、観光協会役員会において来年4月4日と決定しています。

【委員】赤い橋の修繕は、要望を出した城山まもりたいに情報提供していただきたい。

○12月のイベント及び関係人口拡大・創出モデル事業の実施状況について

開催団体関係委員及び事務局より資料3のチラシに基づき説明

【委員】関係人口の事業については当初6名の滞在を目標としていたが、現在16名の滞在看込まれています。これからもより拡大するために話し合うシンポジウムとしています。

○【委員質問】先般、給食センターの在り方委員会が開催されたが、鹿野の給食センターは今後どうなるのか。

【事務局】現在、学校給食の基本構想の改訂作業を進めている段階であり、給食センターの整備内容も盛り込むよう検討を行っています。

【委員】統廃合されると各地域の特色がなくなる。

【事務局】12月中旬より市民政策コメントを行います。ご意見をいただきながら、政策・方針をまとめていきたいと考えています。

○【委員質問】道の駅の運営及び鹿野地域の入込客数の状況はどうか。

【事務局】大まかな状況しか把握していないが、道の駅は新聞報道では10月末まででレジ通過者が19万人とされており、鹿野地域ではそば道場など1～2割程度入込が増えていると聞いております。

○【委員意見】八頭町でのレストランイベントで鹿野出身の徳吉さんがテレビ報道されていた。食材も鹿野地鶏が使われており、鹿野でもイベント開催しアピールできないか、振興会議としても提案していきたい。

閉 会